

2023 年度
もったいないやん活動隊
養成講座テキスト

大阪府環境農林水産部流通対策室
ブランド戦略推進課



目 次

【1】	食品ロスについて	2
	(1) 「食品ロス」とは	2
	(2) 3R（スリーアール）と食品ロス削減	2
【2】	食品ロスに伴う様々な影響	3
	(1) 「食品の生産・流通時の余計なコスト」とは	3
	(2) 「食品の無駄な運搬や焼却により大量の二酸化炭素が発生」とは	3
	(3) 「発展途上国の飢餓や栄養不足への影響」とは	3
【3】	大阪府の食品ロス削減の取組み	4
	(1) 食品ロスの現状	4
	(2) 大阪府の主な施策	5
	① 事業者向け	5
	② 消費者向け	5
	(3) 事業者・消費者が実践できること	6
【4】	大阪府近郊の事業者による食品ロス削減の取組み	7
	(1) 生活協同組合おおさかパルコープ	7
	(2) 日本農業株式会社	8
	(3) 辰巳環境開発株式会社	9
	(4) 株式会社ロスゼロ	10
【5】	もったいないやん活動隊の取組み	11
	(1) もったいないやん活動隊とは	11
	(2) 活動隊の取組み	11
【6】	個人情報の保護	12
【7】	「なんでやろう？食品ロス」カードゲームの遊び方	13
【8】	調査結果概要	19
【9】	啓発ツールの紹介	20
【10】	食品ロス関連参考ページ	21

【1】食品ロスについて

(1) 「食品ロス」とは

本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。

食品ロスの量は年間 523 万トン。(農林水産省・環境省 2021 年度推計値)

日本人の 1 人当たりの食品ロス量は 1 年で約 42 キログラム。

これは日本人 1 人当たりが毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てているのと近い量である。

食品ロスは大きく分けると下記 2 つに分けられる。

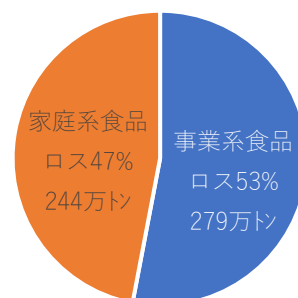
○事業活動を伴って発生する食品ロス

・・・「事業系食品ロス」 279 万トン (食品ロス全体の 53%)

○各家庭から発生する食品ロス

・・・「家庭系食品ロス」 244 万トン (食品ロス全体の 47%)

(出典：農林水産省 HP「食品ロスとは」)



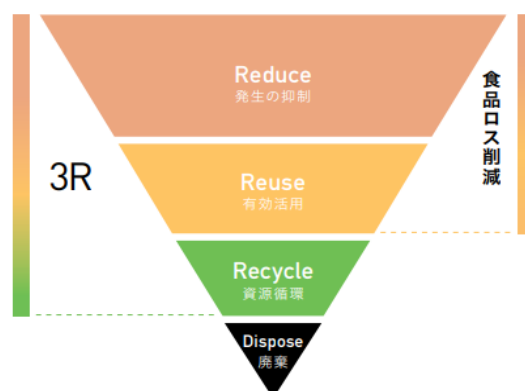
(2) 3R(スリーアール)と食品ロス削減





食品リサイクル法(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)では、食品製造等で生じる加工残さや、食品の流通・消費過程等で生じる売れ残りや食べ残し等の「発生抑制」を行い、発生した食品廃棄物(※)等については、飼料や肥料として「再生利用」に取り組むことで、廃棄処分を減らすとともに、環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指している。

(出典：農林水産省 HP「食品廃棄物等の発生抑制の取組」)

※「食品廃棄物」には、不可食部(野菜の皮や貝の殻など)と、可食部の両方が含まれている。

(出典：消費者庁「食品ロス削減ガイドブック」)



	Reduce 必要な分を買ひ、作り、食べきる・使いきる
	Reuse 新たな価値への転換、シェア、寄附等
	Recycle 燃料や堆肥等への変換
	Dispose 捨てるごみは最小限に

【2】食品ロスに伴う様々な影響

食品ロスは、単に「もったいない」という倫理的な問題のみにとどまらず、(1)食品の生産・流通時に余計なコストが生じるほか、(2)食品の無駄な運搬や焼却により大量の二酸化炭素が発生するとともに、(3)発展途上国の飢餓や栄養不足への影響も推察される場所である。

そこで、この削減に向けては、府民一人ひとりに食品ロスがこうした地球規模の問題に発展していることを十分認識いただき、行動変容につなげる活動推進が求められていると考えている。



(1) 「食品の生産・流通時の余計なコスト」とは

日本の食料自給率は、カロリーベースで 38% (2022 年度時) しかない状況で、食料の多くを輸入に頼っている日本は、諸外国に比べ食料の総輸送量・輸送距離を示すフード・マイレージが圧倒的に高い現状にある。(出典:ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」)

また、家庭系食品ロスは、一般廃棄物の一部として処理されるが、一般廃棄物の処理費用として日本全体で年間約 2 兆円が使われている。

当然のことながら、食品ロスとなった食料の生産時のコストも「余計なコスト」に含まれることから、それらの総コストは膨大な金額になると考えられる。

(2) 「食品の無駄な運搬や焼却により大量の二酸化炭素が発生」とは

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) では、世界で排出される温室効果ガスのうち、8%から 10%程度は食品ロスに由来しているものと示されている。(自動車は 10%とほぼ同等)

また、世界中の食品ロスを仮に一つの国に例えると、中国、アメリカに次いで、世界第 3 位の温室効果ガスの排出源になるとも示されている。

(3) 「発展途上国の飢餓や栄養不足への影響」とは

世界では、全人口のうち 10 人に 1 人、約 8 億人が飢餓に苦しめられているといわれている。(出典:消費者庁「食品ロス削減ガイドブック」)

その一方で、生産された食品の 30%から 40%程度が廃棄されており、そのロス量は 20 億人分の食糧に値するともいわれている。(WFP 国連世界食糧計画より)

世界で生産された食品をできる限り均一に分配できれば、飢餓問題の解決につながっていくものと認められる。

【3】大阪府の食品ロス削減の取組み

大阪府は、2021年3月、「大阪府食品ロス削減推進計画」を策定した。

府民の「もったいない」と「おいしさを追及する」心を大切に、事業者、消費者、行政が一体となって、「もったいないやん!」食の都大阪でおいしく食べきろう」をスローガンに取組みを進めている。

(1) 食品ロスの現状

【全国】

年間発生量 523 万ト(2021 年度推計)

「事業系食品ロス」279 万ト(食品ロス全体の 53%)

食品製造業…125 万ト

食品卸売業…13 万ト

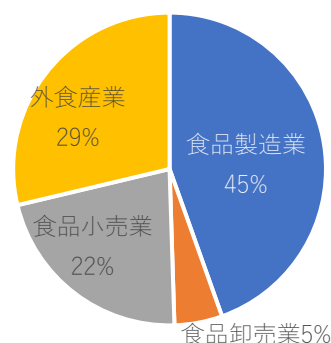
食品小売業…62 万ト

外食産業…80 万ト

「家庭系食品ロス」244 万ト(食品ロス全体の 47%)

(出典:農林水産省 HP「食品ロスとは」)

全国事業系食品ロス(2021年度推計)



【大阪府】

年間発生量 43.1 万ト(2019 年度推計)

「事業系食品ロス」22.3 万ト(食品ロス全体の 52%)

食品製造業…2 万ト

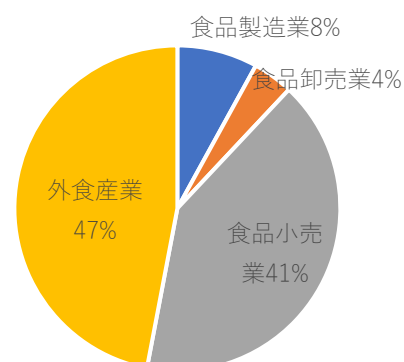
食品卸売業…1 万ト

食品小売業…9 万ト

外食産業…10 万ト

「家庭系食品ロス」20.8 万ト(食品ロス全体の 48%)

大阪府事業系食品ロス(2019年度推計)



大阪府の食品ロス削減目標

国の目標と同様、事業系家庭系ともに 2000 年度比で 2030 年度に食品ロス量の半減を目指す。

さらに、2030 年度までに、食品ロス削減のための複数の取組みを行う府民の割合を 90%とする目標を掲げている。

単位 :	2000年度 (基準値)	2019年度 (現状値)	2030年度 (目標値)
事業系	約33.2	約22.3	約16.6
家庭系	約32.2	約20.8	約16.1
全体	約65.4	約43.1	約32.7

(2) 大阪府の主な施策

①事業者向け

○おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度

食品ロス削減に積極的に取り組むとともに、消費者に対して啓発を実施する事業者を後押しし、取組みを進めるための制度。全 46 の企業・団体など(2024 年 1 月現在)が所属している。

また、大阪府と事業者等が食品ロス削減に関する「事業連携協定」を締結し、府域全体の取組みを進めている。
(詳しくは大阪府 HP を参照)



府内市町村やパートナーシップ事業者が啓発活動などで活用できる「おいしく食べきろうロゴマーク」

②消費者向け

○「もったいないやん へらそう食品ロス」ポータルサイト

家庭でのオンライン学習、小中学校の授業、市町村・NPO 等のイベントで活用できる。



■各ページ紹介

・「食品ロスについて知ろう」「食品ロスと SDGs」

穴あき問題の形式になっているため、学習にそのまま活用できる。穴が空いている部分をクリックすると解答が出てくる。

・「なんでやろう?食品ロス」カードゲーム

小学 4 年生以上を対象とした簡単に楽しく学べる教材ツールとなっている。SDGs や、環境教育、食育の教材として自由に活用できる。ダウンロードしてすぐに使用可能。大阪府からカードゲームの貸出も行っている。



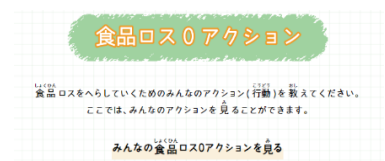
・「先生・指導者の方へ」

「なんでやろう?食品ロス」カードゲームについての学びのポイント、概要、遊び方などを掲載しており、説明書、説明用スライド、ワークシート等はダウンロードしてすぐに使用可能。



・「食品ロス 0 アクション」

自分にできる行動を考え、オンライン上で食品ロス削減宣言をすることができる。また、他の人が投稿した食品ロス 0 アクションや集計した結果も閲覧することができる。



○食品ロス削減の啓発ツール

大阪府がイベントで使用するとともに、府内市町村やパートナーシップ事業者が実施するイベント等にも配布・貸出している。

■のぼり、ミニのぼり、ポスター、チラシ、デジタルサイネージ

■リーフレット「今日からはじめる冷蔵庫革命」

冷蔵庫の収納方法や整理整頓、食品ロス削減レシピを掲載

■「フードバンクガイドライン」

事業者が自ら扱う食品を提供するときの考え方や、集める活動、配る活動それぞれにおいて必要な事項や、大阪府内の事例等を掲載



(3) 事業者・消費者が実践できること

食品ロスは事業者及び消費者の双方から発生しており、サプライチェーン全体で取り組むべき課題である。事業者で発生している食品ロスは、消費者の意識や行動が深く関係しているため、削減にあたっては、事業者の取組みに加え、消費者の理解が重要である。

<主な取組み(例)>

事業者	消費者
<p>≪食品製造業者・農林漁業者≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限の延長・表示の太括り化 ・適正受注の推進 ・農林水産物の有効活用 <p>≪食品卸売・小売業者≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商習慣の見直し（納品期限の緩和、適正発注等） ・需要予測等の推進 ・小分け・少量販売等の工夫 <p>≪外食事業者等≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正発注や提供の推進 ・“食べきり・持ち帰り”の推進 	<p>≪買い物の際≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に家にある食材をチェックし、使い切れる分だけ購入 ・欠品を許容する意識を持つ <p>≪食品の保存の際≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材に応じた適切な保存、冷蔵庫内の在庫管理等 ・消費期限と賞味期限の理解等 <p>≪調理の際≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余った食材の活用、無駄のない調理等 <p>≪外食の際≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べきれない量を注文し、残ってしまった場合の“持ち帰り”等

【4】 大阪府近郊の事業者による食品ロス削減の取組み

(1) 生活協同組合おおさかパルコープ

生活協同組合おおさかパルコープでは、持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境問題を重要な課題と位置付け、組合員とともに環境保全活動に積極的に取り組んでおり、その一つとして食品ロス削減に向けて次の取組を行っている。

フードドライブとパルコープ子ども食堂フードバンク

2017年2月に「パルコープ子ども食堂フードバンク」を立ち上げ、2018年6月から「フードドライブ」の取組を行っている。

その内容は、家庭での余剰食品を持ち寄っていただくフードドライブ活動で集まった食品をパルコープ子ども食堂フードバンクで仕分けし、必要としている地域の子ども食堂やシングルマザー支援団体に無償で分配する活動をしている。(集める食品の中には、パルコープの宅配・店舗や企業で余った食材・食品も含まれている。)

2023年12月現在においてパルコープエリアの81団体86ヶ所の子ども食堂と6つのシングルマザー支援団体にまで広がっているほか、物流センターではフードバンク関西を通じて関西にある福祉団体・施設に食品提供を行っている。



規格外やつくりすぎてしまった「もったいない」商品の取り扱い

ちょっとしたスレ、キズ、変形、不揃いなど、見た目は劣るけれど味や品質に問題はない農産物や規格外で通常は出荷できないものの寄せ集め品、作りすぎてしまったものを少し安く取り扱っている。

また、天候による被害を受けた野菜や果物、その時の情勢によって余ってしまったものもできるだけ食べていただくことで、食品ロスを防ぎ生産者やメーカーも笑顔になる取組を行っている。

食品ロス削減の啓発

パルコープは、大阪市、交野市、寝屋川市、枚方市とフードドライブ連携協定を結んでいる関係で、依頼に応じて学生向けに出前講座を行うこともある。

(2) 日本農業株式会社

私たち人類は地球上のすべての生き物と同じ時代に生きる「いのち」として共感できる場所に立っている。

その中で、気候変動という「地球温暖化の危機」、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動による「資源浪費による危機」、開発などによる生物多様性の大幅な喪失という「生態系の危機」といった、私たち一人ひとりが避けることができない喫緊の課題がある。

日本農業株式会社では、これら課題解決の糸口が私たちの命の循環の中にある営みである「農」にあると考えている。

就農者を増やし、経済の発展だけでない新しい価値を生み出すことを理念とし、農場と食を近付ける六次産業¹を推進。2019年11月より農家直営スープ専門店「たんとスープ」の店舗展開をスタート。店舗に関わる人に農場に来てもらい期間限定農家を増やす「都会から農村に逆出稼ぎモデル」や農福連携²、半農半X³支援などで農の関係人口を増やしている。

たんとスープ

日本農業株式会社で製造している「たんとスープ」のすべてのスープのベースは、自社で農薬や化学肥料を使わずに育てている野菜を使った「ベジブロス（野菜（Vegetable）の出汁（Broth）」を使用している。

ベジブロスには、不揃いであったり傷のあるような、通常では流通できなかった野菜や、皮やへたなどの野菜くずも含めた野菜のすべてを利用しているため、食品ロスを削減するとともに、野菜が持つ本来の栄養や美味しさを、あますところなく抽出した野菜出汁となっている。



¹ 1次産業としての農林漁業、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組み

² 障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組み

³ 他に仕事を持ちながら農業を営むライフスタイル

(3) 辰巳環境開発株式会社

辰巳環境開発株式会社では、一般廃棄物の収集運搬業務をはじめ、産業廃棄物収集運搬・処分リサイクル処理を中心に業務を展開している。

その中で、「食品リサイクル部門」に関しましては、今から約20年前より操業し、現在では循環型社会を構築される企業や農業法人とともに日夜リサイクルに励んでいる。

食品リサイクル堆肥

ホテル、スーパー、レストランなどより排出される食品廃棄物を堆肥へと再生し、CO2の削減につなげている。

食品リサイクル・ループ

堆肥化した製品を有機農法にて作物を育てている方に使用していただきその作物を元のレストランにて使用していただきリサイクル・ループの構築に成功している。



(4) 株式会社ロスゼロ

株式会社ロスゼロでは、食品製造や流通段階で行き場を失った余剰・規格外食品を消費者に直接つなぐ EC サイト「ロスゼロ」、サブスクリプション「ロスゼロ不定期便」の運営の他、未利用の原材料を活用したアップサイクル⁴商品開発をしている。また、SDGs や食品ロス等に関するブログ記事を 1,000 本以上執筆しており、公式アプリでは SDGs アクションを促す「毎日おみくじ」を提供するなど、消費者への啓発にも努めている。

ロスゼロ不定期便

各食品メーカーで余剰になった食品を福袋のように詰め合わせ、2 か月に一度、ユーザーへお届けするサブスクリプションサービス。食品を最後までおいしく食べてほしい「食品メーカー」、おトクにおいしく社会貢献がしたい「ユーザー」、そして地球環境まで、みんながハッピーになる消費スタイルを実現。

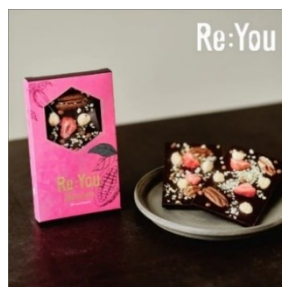


2023 年 11 月時点で、出荷件数は 18,000 件を超えており、累計約 36 万点・約 90 トン超の食品を消費者・法人にお届け。また、約 326 トンの CO2 削減に貢献している。

アップサイクル商品

食品メーカーから「実は原材料も余っているが、新しく商品化するノウハウがない」との声を聞き、余剰になった未利用原材料のアップサイクル商品開発を開始。「食べる理由がある」という意味を込めたオリジナルブランド「Re:You (りゆう)」シリーズを 2022 年より展開。

「Re:You 気仙沼みなどいちご (左)」は気仙沼産の規格外のいちごをあえて不揃いな形を活かしたビジュアルにしてアップサイクル。「Re:You トッピングチョコレート (右)」は国内で余剰になった高品質のチョコレートの原材料をアップサイクル。



開発過程では、自治体・NPO・生産者・大企業・学生など、ロスゼロが各セクターの架け橋となり、産官学で協業している。それぞれの強みを活かせる形で、商品開発の全体コストを下げつつ、ソーシャルインパクトは大きくしている。百貨店の常設店舗での販売や、神戸市のふるさと納税返礼品にも採択されるなど、地域から全国へ販路を拡大中。

⁴ 廃棄物や不要となったものを、デザインやアイデアを加えて付加価値の高い別のものに生まれ変わらせること

【5】もったいないやん活動隊の取組み

(1) もったいないやん活動隊とは

食品ロスについて学び、食品ロス削減の取組み推進や普及啓発のために、地域活動や学校への出前講座など多様な分野で積極的に活躍していただくボランティアのことを指す。大阪府は毎年、以下に該当する方を対象に活動隊員を募集している。



○対象

- ・ 大阪府内に在住又は在学若しくは在勤の方で満 18 歳以上の方(ただし、高校生を除く)
- ・ 自身が属する地域、学校及び職場などで食品ロス削減に取り組んでいる、又は今後取り組みたい方
- ・ 受講後、もったいないやん活動隊として登録し、食品ロス削減対策の推進を図るために消費者啓発などの活動を積極的に行っていただけの方

(2) 活動隊の取組み

○活動の例

■ 地域・学校・職場での活動

(例)公民館で食べきりレシピ料理教室の開催、大学や職場でフードドライブの実施、大学祭での食べきり運動の呼びかけ

■ 府民への普及啓発

(例)小学校への出前講座の実施、地域のイベントでの「なんでやろう?食品ロス」カードゲーム体験サポーター

■ 事業者への取組み応援活動

(例)食品ロス削減に取り組む事業者へのインタビューの実施、フードバンク団体でのボランティア活動



イベント会場での隊員の活動の様子 (2023 年 7 月)

【6】個人情報の保護

活動隊員の皆さんは、活動される際に名簿を作成するなど身近なところで個人情報を取り扱う場合がある。個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報は適正に取り扱いしなければならない。

○ 「個人情報」とは

「個人情報」とは、住所、氏名、電話番号、E-mail アドレス等特定の個人を識別できる情報をいう。

○ 「個人情報データベース等」と「個人データ」

■ 個人情報データベース等

特定の個人情報を検索することができるように体系的に構成された、個人情報を含む情報の集合物のこと。

■ 個人データ

「個人情報データベース等」を構成する個人情報のこと。

○ 個人情報や個人データを取り扱う時の基本ルール

■ 取得・利用 ⇒ 勝手に使いません！（利用目的を特定して、その範囲内で利用する。）

■ 保管・管理 ⇒ なくさない！ 漏らさない！

■ 提供 ⇒ 勝手に人に渡さない！

■ 開示請求等への対応 ⇒ お問い合わせに対応！

○ 個人情報の適正な管理はなぜ必要か

府民や参加者などに信用していただく ⇒ 活動隊事業の継続・発展、社会的な信頼の獲得

○ 個人情報の漏えいに関する事故の影響

■ 社会的な信用の失墜

府民や参加者の、活動隊全体に対するイメージがダウンし信用を失う。

■ 事業継続へのダメージ

食品ロス削減に向けた啓発に大きな影響を与えかねません。

➡（ ・ 事故防止の基本ルールや基本動作を身につける。
・ 最も大切なことは「事故防止の意識」。

○ 事例の紹介

活動時にメールを送信する機会もあるかと思います。

→メールの誤送信の具体例とその解決策を考えてみましょう！

【7】「なんでやろう？食品ロス」カードゲームの遊び方

もったいないやん
へらそう食品ロス

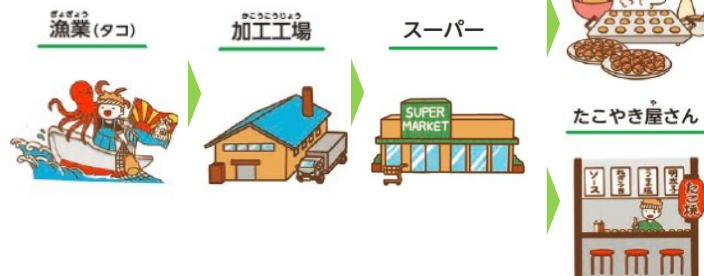
このカードゲームは
たこ焼きが私^{わたし}たちの食卓^{しょくたく}に
届^{とど}くまでに出^でてしまう
食品ロス^{しょくひん}について
知^しることができる
カードゲームです。



なんで
やろう？
食品ロス

もったいないやん
へらそう食品ロス

たこ焼きが私^{わたし}たちの食卓^{しょくたく}に届^{とど}くまでを
考^{かんが}えてみよう！



もったいないやん
へらそう食品ロス

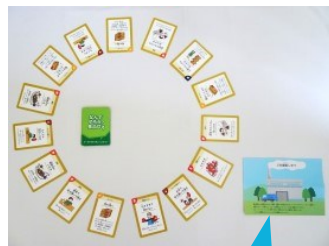
【ゲームの準備^{じゅんび}をします】

なんで
やろう？
食品ロス

しゅるい
カードの種類



ゲームで使うカードは緑色、黄色、青色、赤色の全部で4種類！



ごみ焼却しせつの紙は
ここにおこう

1. まず、**黄色**の食品ロスカードを
えがかいてある面を上にして円形に
お置こう。
2. **緑色**のフードサプライチェーン
カードはよく切ってから、束ねたま
ま裏を向けて円の中に置くよ。
3. 円の外側に、ごみ焼却しせ
つの紙を置こう。

4. 手札を参加人数にあわせてシャフルしてくぼう。

てふだ まいすう 手札の枚数	にん ぐみ 3人(組)	にん ぐみ 4人(組)
しょくひん さくぼん 食品ロス削減カード ● (21枚)	まい 7枚ずつ	まい 5枚ずつ (あまり1枚)
パートナーシップ ● (4枚)	まい 1枚ずつ (あまり1枚)	まい 1枚ずつ
ごうけいまいすう 合計枚数	まい 8枚ずつ	まい 6枚ずつ

【ゲーム開始！】

なんで
やろう？
食品ロス

あそび かた せつめい
遊び方を説明するよ！

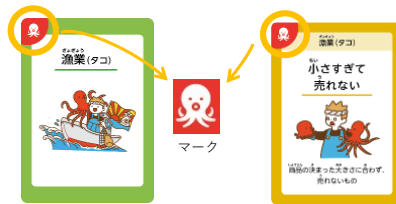
【①緑色の山札から1枚引こう】



まずは、じゃんけんをしよう。

勝った人は緑色のカードの山札から
1枚引き、円形の中に絵を上にして
置いてね。

【②黄色のカードを選ぼう】



緑色のカードとマークが

同じ黄色のカードを

円の中から選ぼう！

下のように、緑色のカード

の上に重ねてね



みんなで正しいカードか確認してね。

もったいないやん
へらそう食品ロス

【③青色の手札から選ぼう】

食品ロス削減



選んだ黄色のカードに書かれている食品ロスを解決できる、
青色の食品ロス削減カードは手札に持っているかな？

ここでも、左のマークがヒントだよ！

もったいないやん
へらそう食品ロス

食品ロス削減
カードを出そう！



も 持 っ て い れ ば、選 ん だ カ ー ド に 書 か れ て い る 内 容 の カ ー ド を
出 した 人 が 読 み 上 げ て、み ん な で 合 っ て い る か 確 認 し よ う。

※マークが同じでも、使えないカードがあるので、使えるか使えないかは
全員が話し合っ っ て 決 め ま す。

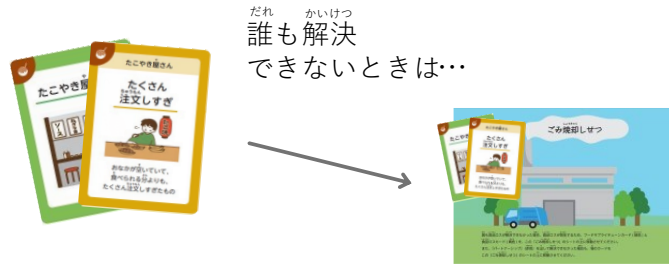
もったいないやん
へらそう食品ロス

食品ロスが
解決できたら
ポイントゲット！



解決できたら、青色のカードの左上に書いてある数字の
ポイントがもらえるよ。
解決できたカードは、重ねたまま自分の目の前に置いてね。

もったいないやん
へらそう食品ロス



だれ かいけつ
誰も解決
できないときは…

しょくひん で しょうきゃく
食品ロスが出てごみ焼却しせつへ
⇒そのプレーヤーは1回休みになるよ。

もったいないやん
へらそう食品ロス

ただし！

パートナーシップが
あれば…

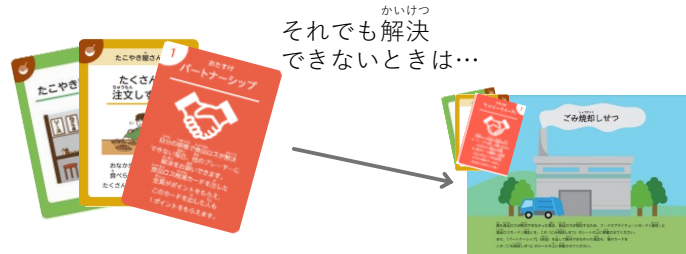


もったいないやん
へらそう食品ロス

ほか ひと たす
他の人に助けてもらえるよ！



もったいないやん
へらそう食品ロス



食品ロスが出てごみ焼却しせつへ行きますが
1回休みがなくなるよ。

もったいないやん
へらそう食品ロス

右回りに順番に続けていこう！

山札の緑色のカードがなくなればゲーム終了
合計のポイントが最も高い人が勝者です！
※手札がなくなった人はとぼしてね。

もったいないやん
へらそう食品ロス

【ゲーム終了！】

なんで
やろう？
食品ロス

自分のポイントを数えてみよう！

【8】 調査結果概要

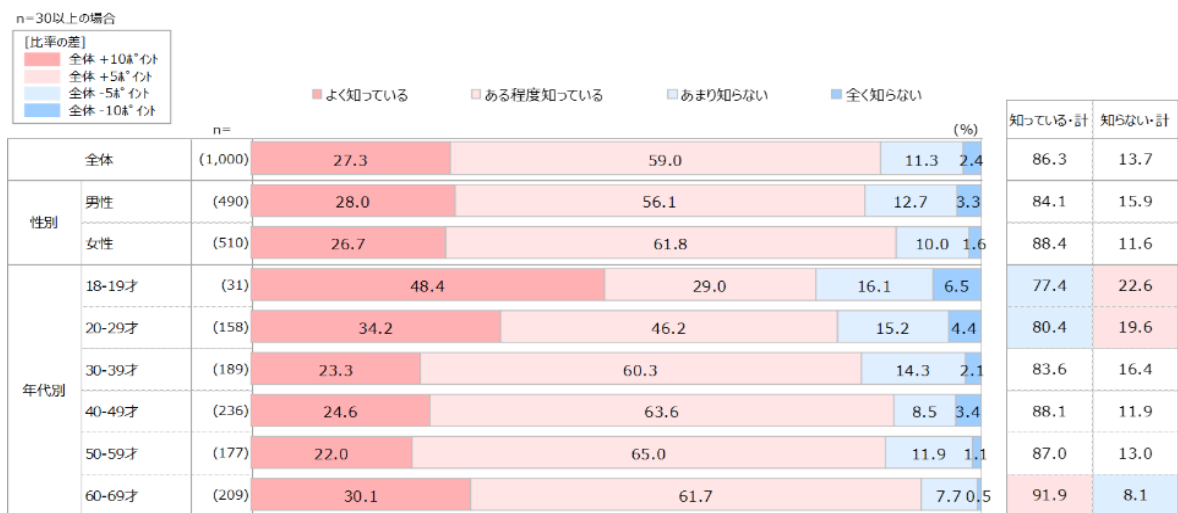
○食品ロス削減に係る府民の意識調査（2020年12月7日～12月9日）

「大阪府食品ロス削減推進計画」の目標設定のため、府民の食品ロス問題の認知度及び削減に取り組む府民の実態を明らかにしている。

(例) Q1. あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。当てはまるものを1つお選びください。

<調査結果>

- ・「よく知っている」が約27.3%、「ある程度知っている」が約59.0%となり、全体の約86.3%が認知層となった。
 - ・年代別で見ると、若年層ほど「よく知っている」の割合が高く、年代が高くなるほど認知層の割合が高い。
- (※認知層：Q1で「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した層)



○大阪府食品ロス発生動向等解析調査（「大阪府食品ロス削減推進計画」策定の基礎資料）

大阪府域における食品ロスの発生量を事業系、家庭系ごとに推計するとともに、推計の過程から考えられる食品ロス削減の特性及び課題について取りまとめている。

○家庭の食品ロス実態調査結果報告（2019年5月）

家庭及び小売店における食品ロス削減に効果的な取り組みを見出すため、食品ロスを引き起こす消費者の行動を明らかにするとともに、食品ロスに対する府民の意識改革及び削減行動へとつなげるために実施した。

○「食品ロス削減の取組状況等に関するアンケート」調査報告（2018年11月）

府内の食品製造業の事業所における食品ロスの発生状況や発生の理由等を把握し、今後の施策の基礎資料とした。（特に在庫のまま廃棄される食品をターゲット）

【9】啓発ツールの紹介

イベント備品貸出します！

※活動のPRにご活用ください!!

活動隊の皆様が活動をされる時に、パネルなどの備品貸出のご協力ができます。詳細につきましてはその都度お問い合わせください。



■啓発媒体に関するお問い合わせ先■

大阪府環境農林水産部流通対策室ブランド戦略推進課総務・企画グループ

(電話) 06-6210-9607

(メールアドレス) ryutsutaisaku-g02@gbox.pref.osaka.lg.jp

【10】食品ロス関連参考ページ

※見たいQRコードが読み取りにくい場合は、紙などで近くのQRコードを隠してください。

【大阪府】

A. 「食品ロス削減の取組」 ホームページ

<https://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/foodloss/>



B. 「もったいないやん へらそう食品ロス」 ポータルサイト

<https://www.osaka-foodlosszero.jp/>



【国・省庁】

C. 消費者庁 「食品ロスについて知る・学ぶ」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/



D. 消費者庁 「めざせ！食品ロス・ゼロ」 ポータルサイト

<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/>



E. 消費者庁 「食品ロス削減推進サポーター向けページ」

<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/supporter/>



F. 料理レシピサービス クックパッド公式ページ 「消費者庁のキッチン」

<https://cookpad.com/kitchen/10421939>



G. 環境省 「食品ロスポータルサイト」

<https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>



H. 農林水産省 「食品ロス・食品リサイクル」

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html



